



ID: 1454

科目名	老人福祉論【26年度生用】			コード			
英語表記	Social services for the elderly						
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	講義	授業形式			履修形態		
授業概要							
現代社会における高齢者の生活実態を多角的に捉え、高齢者が最期まで人として尊厳のある人生を歩むためには、社会的にどのような仕組みが必要であり、どのような支援が必要であるのかを考察する。また、現在ある高齢者関連諸制度について介護保険制度を中心として理解を深める講義としたい。							
到達目標							
・高齢者の特性を理解する。・高齢者の生活実態とそれを取り巻く福祉需要を理解する。・高齢者福祉制度の発展過程を理解し、現在の動向についても理解する。・介護保険制度について理解する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション ～現代社会と高齢者～						
第2回	高齢者の特性Ⅰ ～高齢者の身体的特性について～						
第3回	高齢者の特性Ⅱ ～高齢者の心理的特性と社会的特性について～						
第4回	高齢者の生活実態 ～高齢者の健康面・経済面などについて～						
第5回	高齢者を取り巻く社会情勢Ⅰ ～高齢者の福祉需要①(就労実態と課題、高齢者虐待の実態と課題)～						
第6回	高齢者を取り巻く社会情勢Ⅱ ～高齢者の福祉需要②(老年期の生活課題の特性と構造)～						
第7回	高齢者福祉制度Ⅰ ～高齢者福祉制度の発展過程～						
第8回	高齢者福祉制度Ⅱ ～老人福祉法の概要～						
第9回	高齢者福祉制度Ⅲ ～高齢者に対する社会保障～						
第10回	高齢者福祉制度Ⅳ ～老人保健法から高齢者の医療の確保に関する法律～						
第11回	介護保険制度Ⅰ ～介護保険法制定の背景および介護保険制度の仕組みとその機能～						
第12回	介護保険制度Ⅱ ～介護保険制度におけるサービス体系～						
第13回	介護保険制度Ⅲ ～介護報酬の概要～						
第14回	介護保険制度Ⅳ ～医療と介護の連携と地域移行支援～						
第15回	高齢者の社会参加 ～高齢者の生きがいと社会参加～						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
毎回小テストを行う。出席回数が3分の2に満たない者は、期末試験の受験を認めない。評価項目に授業態度を除外しており、積極的な質問は受け付けるが、注意すべき態度は受け付けない。大学生として相応しい態度で受講することを前提とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
					10%	60%	30%
授業外学習			テキスト、教材				
数回レポート課題を出し、提出を求める。			新・社会福祉士養成講座第13巻「高齢者に対する支援と介護保険制度(第3版)」中央法規出版				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業の中で適宜紹介する。			社会福祉士指定科目のため受験資格が必要な人は必ず履修すること。				
キーワード							
高齢者の生活 老人福祉法 介護保険法 高齢者虐待 生きがい							